高岡の鉄軌道を活かした市民の移動低炭素化構想
～　市民活動・市民意識のそばにある公共交通を目指して　～

代表提案者	高岡市

商工業都市として発展してきた高岡市。中心市街地の空洞化や市街地分散、高齢化の進展、過度な自動車依存が課題となっているなか、2015年春の北陸新幹線開業を迎え、街は大きく変わりつつある。本構想では、これを好機と捉え、市民の熱意で存続させた「街のシンボルである万葉線」などの鉄軌道や市民と行政の連携力を活かした、①官民協働による公共交通活用・低炭素化、②交通まちづくり連携による低炭素化、③市内交通モードの低炭素化の3つのプロジェクトを推進することで「行政と市民が一体となった公共交通利用促進による低炭素都市　高岡」を目指すものである。

心理的近接化

RP①

官民協働による公共交通活用・低炭素化行動促進プロジェクト

物理的近接化

RP②

交通まちづくり連携による低炭素化行動促進プロジェクト

環境配慮化

RP③

市内交通モードの低炭素化行動促進プロジェクト

構想の全体像

○ツアーイベント等の実施
- 公共交通を活用するツアーイベントの実施
- 児童の課外活動での公共交通の活用

○市民参加型のモビリティ・マネジメント事業
- ワークショップなどによる情報交換、意識向上
- 公共交通マップ、沿線ガイド等の作成

○車両、施設の省エネ化
- 万葉線の老朽車両を省エネ型の新型車両に更新
- 環境配慮型車両の導入・活用
- 万葉線の車内、電停のLED化

○マイレール・マイバス意識の醸成
- 沿線住民、企業への働きかけ

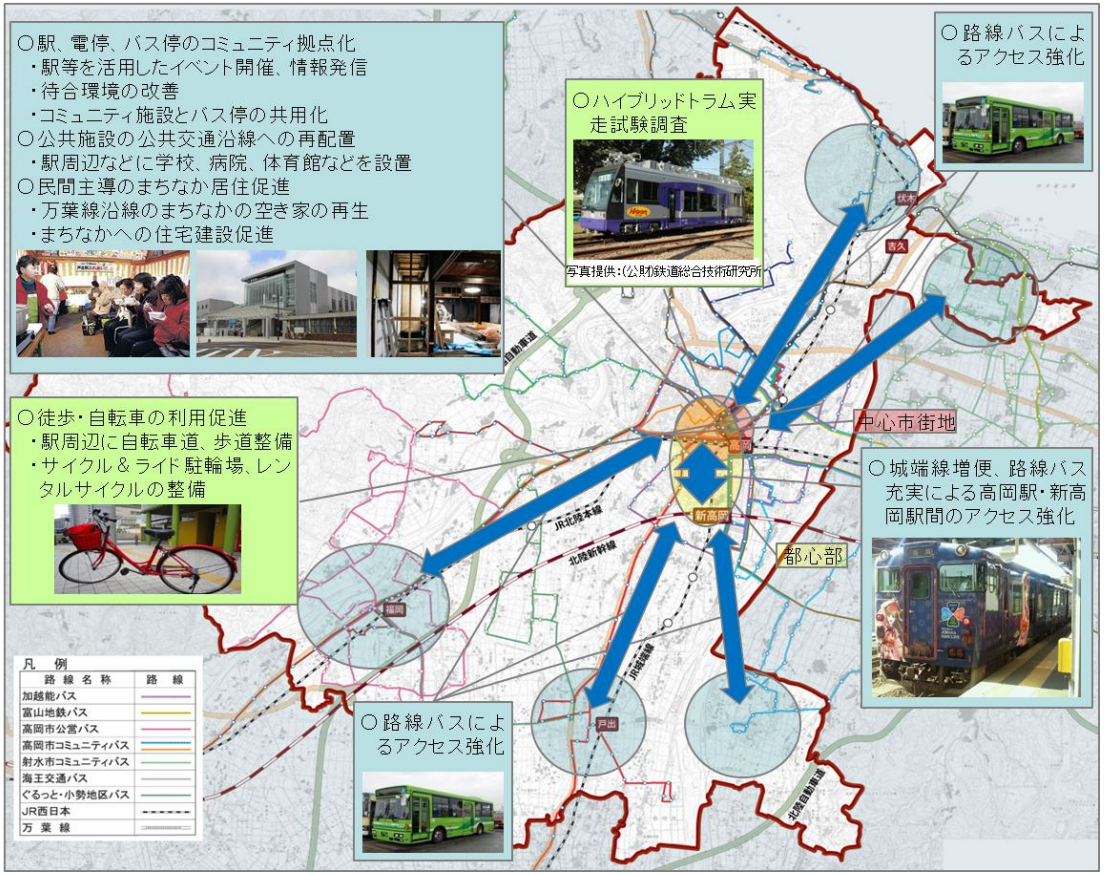
○サポーター組織の活動支援
- サポーター組織のイベント等の支援
- 交通事業者とサポーター組織の連携強化

○駅、電停、バス停のコミュニティ拠点化
- 駅等を活用したイベント開催、情報発信
- 待合環境の改善
- コミュニティ施設とバス停の共用化

○公共施設の公共交通沿線への再配置
- 駅周辺などに学校、病院、体育館などを設置

○民間主導のまちなか居住促進
- 万葉線沿線のまちなかの空き家の再生
- まちなかへの住宅建設促進

○徒歩・自転車の利用促進
- 駅周辺に自転車道、歩道整備
- サイクル＆ライド駐輪場、レンタルサイクルの整備



○ハイブリッドトラム実走試験調査

写真提供：(公財)鉄道総合技術研究所

○路線バスによるアクセス強化

○城端線増便、路線バス充実による高岡駅・新高岡駅間のアクセス強化

○路線バスによるアクセス強化

『高岡の鉄軌道を活かした市民の移動低炭素化構想』の実現へ